

第2回

多糖の未来シンポジウム

多糖の資源活用と機能探求に向けて

プログラム

“材料・医療・食糧としての多糖の魅力”

1. 中坪文明 (京都大学) 「セルロースの高機能化戦略」
2. 鶴見 隆 (東京農工大学) 「旭化成メディカル株式会社におけるウイルス除去フィルターの開発と工業化」
3. 伊藤耕三 (東京大学) 「スライドリング (環動) ゲル: シクロデキストリンの高機能材料化」
4. 佐藤ちひろ (名古屋大学) 「ポリリアル酸の生物機能探求」
5. 山本 理 (生化学工業株式会社) 「ヒアルロン酸の医療展開」
6. 大坪研一 (食品総合研究所) 「食糧としての多糖の戦略」

日 時: 平成19年11月2日(金)
13:00~19:00

会 場: 名古屋大学野依記念学術交流館

(地下鉄名古屋大学駅下車, http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/)

参加費: 無料 (懇親会3,000円)

ホームページ

<http://www.che.tohoku.ac.jp/~poly/>

<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/org/jpn/index.htm>

申込方法

氏名、勤務先、所属学会、E-mailアドレス、懇親会参加有無を明記して、
E-mail: polysacc@mol.nagoya-u.ac.jp に申し込む

参加申込締切 / 10月22日

- 主催: 日本化学会 (糖鎖化学研究会)、日本応用糖質科学会、セルロース学会、日本キチン・キトサン学会、シクロデキストリン学会、名古屋大学
- 共催 (予定): NPOバイオものづくり中部 (糖鎖分科会)、(財) 水谷糖質科学振興財団、積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム、糖鎖科学名古屋拠点、日本糖質学会、高分子学会、日本農芸化学会、(財) 化学技術戦略推進機構、(財) バイオインダストリー協会
- 学術集会助成金拝受 (予定): 日本化学会、名古屋大学、(財) 水谷糖質科学振興財団、積水化学 自然に学ぶものづくり研究助成プログラム、NPOバイオものづくり中部 (糖鎖分科会)

第2回多糖の未来シンポジウム 「多糖の資源活用と機能探求に向けて」

趣旨 多糖は人類存続にとって必須の生活資源である。日本化学会(糖鎖化学研究会)の提案により関連学会が協力して、「多糖の未来プロジェクト」が平成18年に発足した。地球規模でのバイオマス資源としての多糖をいかに活用するか、また多糖に期待できる多様な機能をいかに探求していくかにとくに焦点を当てて、学術と産業における活動を進めている。このような多糖の資源活用と機能探求は、持続可能資源、バイオエネルギー、バイオマス、グリーンケミストリー、生分解性ポリマー、バイオプロセス、バイオケミカルズ、さらには食と健康などの我が国において現在進行中の戦略に立脚するとともに、これらを含めて多糖の未来を見据える戦略である。また、このような多糖資源は広い意味での「糖鎖」の一つの側面である。すでに展開中の「糖鎖科学プロジェクト」が生体内の糖鎖機能の解明からシステム糖鎖生物学の統合を目指しているのと並んで、「多糖の未来プロジェクト」は糖鎖の両輪となるべきものであり、人類の豊かな生存に向けて、両者が協力し合って我が国の学術と産業をより活発に推進させていくべきであるとの認識に立脚している。

本年度は「材料・医療・食糧としての多糖の魅力」のテーマの基に、第2回多糖の未来シンポジウムを名古屋大学において開催することになった。東海・中部地区には、世界に冠たる糖鎖科学の学術拠点(糖鎖科学名古屋拠点)があり、その研究および教育活動に対して名古屋大学からも学術支援を受けてきた。また関連して、産業および地域への密接な連携を目指して、NPOバイオものづくり中部(糖鎖分科会)が積極的に活動を推進している。多糖の未来シンポジウムが切っ掛けとなって、我が国における多糖の学術と産業の重要性と魅力が現代社会に広く浸透し、この分野がさらに活発になることを願っている。

以上のような趣旨にご賛同いただき、ご支援、ご協力をお願いするとともに、多数の皆様方にご参加いただきたくお願い致します。

第2回多糖の未来シンポジウム実行委員会

- 日本化学会(糖鎖化学研究会)：小林一清(名古屋大学)
正田晋一郎(東北大学工学研究科)
秋吉一成(東京医科歯科大学生体材料工学研究所)
- 日本応用糖質学会：中久喜輝夫(日本食品化工株式会社)
久松 真(三重大学生物資源学部)
- セルロース学会：近藤哲男(九州大学バイオアーキテクチャーセンター)
柴田 徹(ダイセル化学工業株式会社)
- 日本キッチン・キットサン学会：櫻井謙資(福井大学工学部)
鶴谷良一(ユニチカ株式会社)
- シクロデキストリン学会：小宮山真(東京大学先端科学技術研究センター)
草井 章(三共株式会社)
- 名古屋大学：北島 健(生物機能開発利用研究センター)
飯島信司(工学研究科)
-